

フランス中部の洞窟 (1)

～ペリゴール地方の洞窟～

Caves in Middle Area of France No.1 ~ Karstic Caves of Perigord Region ~

本多力 (HONDA, Tsutomu) NPO 法人火山洞窟学会所属 東京在住)

1. はじめに

ペリゴール地方ドルドーニュ川の支流ヴェゼール渓谷のレゼジー村一帯にある装飾絵画は世界遺産に指定されている。レゼジー村ではクロマニオン人の骨が発見された場所でもあり近郊にはラスコー洞窟はじめ多くの先史時代の遺跡があり、考古学研究の一大中心地でもある。先史絵画洞窟以外にも地質学的に重要な洞窟もありそれらをざっと見るためにも最低一週間の滞在は必要である。

エクス・アン・プロヴァンスから車で6-7時間なので泊りがけで何回か訪れた。

本物のラスコー洞窟は立ち入り禁止であるが近くにラスコーIIという実物そっくりの洞窟が作られていてそれが公開されている。内部の絵画はすばらしいというか驚きである。それでも中は撮影禁止である。そのほか先史絵画洞窟としてルフィニャック洞窟、フォン・ド・ボーム洞窟、コンバレル洞窟、ロック・ブラン洞窟、バラバオ洞窟、ソルシエール洞窟、少し離れてヴィラルール洞窟、パール・ノン・パール洞窟などなど、地質学的洞窟では、宝石箱といわれるグランロック洞窟、プルメイサック洞窟、最近公開されたマクサンジュ洞窟、その他岩陰洞窟遺跡として、レイニャック城砦、サンクリストフ岩壁数えたらきりがなほどの数の有名洞窟がある。洞窟好きにとっては洞窟デイズニerlandといったところか。洞窟好きの方々(特に先史絵画)においてはフランスに旅行される時、パリ観光



写真1 国立先史博物館の上にある
クロマニオン人の像

2. 滞在ホテル

崖に張り付いたレゼジー村(写真2)、泊まったホテルは「クロマニオン」(写真3)、このホテルの裏手でクロマニオン人の骨が見つかったらしい。ホテルの中の石灰岩の崖が壁となっている廊下がある(写真4)。



写真2 崖に張り付いたレゼジー村のメイン通り



写真3 クロマニオンホテル



写真4 ホテルの通路の突き出た壁